



乾杯を
もっとおいしく。

NEWS RELEASE

サッポロビール株式会社

「サッポロ生ビール黒ラベル」新CMのお知らせ

～10周年「大人エレベーター」シリーズ新作を発表～
第35弾は27階に常田大希さんが登場



サッポロビール（株）は、今年で10周年を迎える「サッポロ生ビール黒ラベル」のTVCM「大人エレベーター」シリーズ第35弾を、3月28日から全国で放映します。

今回ご登場いただくのは、27歳大人代表の常田大希（つねただいき）さんです。飾らない等身大の言葉で音楽を通じた人生観に対する独自の考えを語ってくださった常田さん。そんな常田さんと妻夫木さんとの会話の中で描かれる世界観が、20代・30代を中心とした若い世代のお客様への新たな気付きを生むとともに、幅広く「大人」のお客様に共感していただけることを期待しています。

「サッポロ生ビール黒ラベル」は、今後ともさまざまなお客様接点において「大人の★生」を訴求することで、ブランドのさらなる活性化を図っていきます。

1. タイトル

【第35弾】

黒ラベル	大人 EV	27歳	たった1曲で篇	30秒、15秒
黒ラベル	大人 EV	27歳	人生が二度あれば篇	30秒、15秒
黒ラベル	大人 EV	27歳	時代とは篇	30秒、15秒
黒ラベル	大人 EV	27歳	格好よさ篇	30秒
黒ラベル	大人 EV	27歳	他人の曲篇	30秒
黒ラベル	大人 EV	27歳	自分では最高篇	30秒
黒ラベル	大人 EV	27歳	一番大切なもの篇	15秒
以上、計10タイプ				

2. 放送開始

2020年3月28日以降

※サッポロビールのホームページでは、2020年3月27日からCM本編を公開します。

<https://www.sapporobeer.jp/beer/index.html>

3. CMコンセプト

「大人の★生」をコミュニケーションテーマに掲げている「サッポロ生ビール黒ラベル」は、独自の強みである「生のうまさ」に加えて「自分なりの価値観を持った大人同士が飲むビールである」という価値を訴求するため、架空の「大人エレベーター」に乗り込んだメインキャラクターの妻夫木聡さんがフロア数に応じた年齢の大人たちに出会い、「サッポロ生ビール黒ラベル」を味わいながら「大人」というテーマについて本音で語り合うCMを展開しています。

4. CM 内容 魅力ある大人たちに出会える「大人エレベーター」を舞台に、メインキャラクターの妻夫木聡さんに加え、27 歳大人代表の常田大希さんを迎えて、実に味わいのある世界が生まれました。黒ラベルを交わしてこそ生まれる「大人の世界観」を哲学的に描き「大人の★生」にふさわしい「サッポロ生ビール黒ラベル」の魅力を表現しています。
5. エピソード 「大人エレベーター」で階下へ向かう妻夫木さん。
“27 階”
扉が開くと、そこには荘厳な古城へと道が続いている。
分厚い扉を開くと、たくさんの楽器や機材が置かれた不思議な空間が広がっている。
そして、そこに 27 歳の大人代表、常田大希さんが待ち受けている。
投げかけられる難解な質問に、悩みながらも真摯に自分の言葉で語る常田さん。
その答えに、時には笑い、時には気づきを得る妻夫木さんでした。
6. キャラクター 【メインキャラクター】妻夫木聡
【魅力ある大人】常田大希

<参考> CM キャラクター プロフィール

【妻夫木聡】

1980 年、福岡県出身。

映画「ウォーターボーイズ」(2001 年)、「ジョゼと虎と魚たち」(2003 年)などに主演し、数々の賞を受賞。2009 年には NHK 大河ドラマ「天地人」で主演。また 2010 年公開の主演映画「悪人」での演技が高く評価され、第 34 回日本アカデミー賞最優秀主演男優賞などを受賞。2016 年公開の「怒り」(李相日監督)では第 40 回日本アカデミー賞最優秀助演男優賞を受賞。

2017 年は「愚行録」(石川慶監督)、「奥田民生になりたいボーイと出会う男すべて狂わせるガール」(大根仁監督)で主演を務め、2018 年には、中国の大ヒット映画「唐人街探案 2」(陳思誠監督)などへ出演、2019 年には、日本と台湾の合作で全編台湾ロケでの撮影に挑んだ映画「パラダイス・ネクスト」(半野喜弘監督)などへ出演。

2020 年は、映画「Red」(三島有紀子監督)、映画「一度死んでみた」(浜崎慎治監督)に出演。さらに映画「一度も撃ってません」(阪本順治監督)、映画「浅田家！」(中野量太監督)が公開予定。

【常田大希】

1992 年生まれ、長野県出身。

東京藝術大学音楽学部器楽科チェロ専攻に進学後、2015 年、「Srv.Vinci」名義でバンド活動を開始。その後、メンバーチェンジを経て 2015 年に現在の 4 人体制となり、2017 年「King Gnu」と改名。2019 年にアルバム「Sympa」でメジャーデビュー。同年 2 月発売の日本テレビ系ドラマ「イノセンス 冤罪弁護士」の主題歌に起用された「白日」が、年間の優れたミュージックビデオを表彰する「MTV VMAJ」で最優秀ビデオ賞を受賞し、さらに最優秀邦楽新人アーティスト賞の 2 冠を達成。また、欧州最大級の音楽授賞式「2019 MTV EMA」では「ベスト・ローカル・アクト賞 “BEST JAPAN ACT”」を受賞し年末には NHK 紅白歌合戦にも初出場を果たすなど、デビュー 1 年で一気に日本を代表するバンドとなった。

2019 年には気鋭な音楽プロジェクト「millennium parade」をスタート。自身が主宰するクリエイティブチーム「PERIMETRON」と共に様々なアーティストやクリエイターを巻き込み、より前衛的な音源とライブを発信し音楽ファンのみならずカルチャーシーン全体におおいなる刺激を与えている。

以上